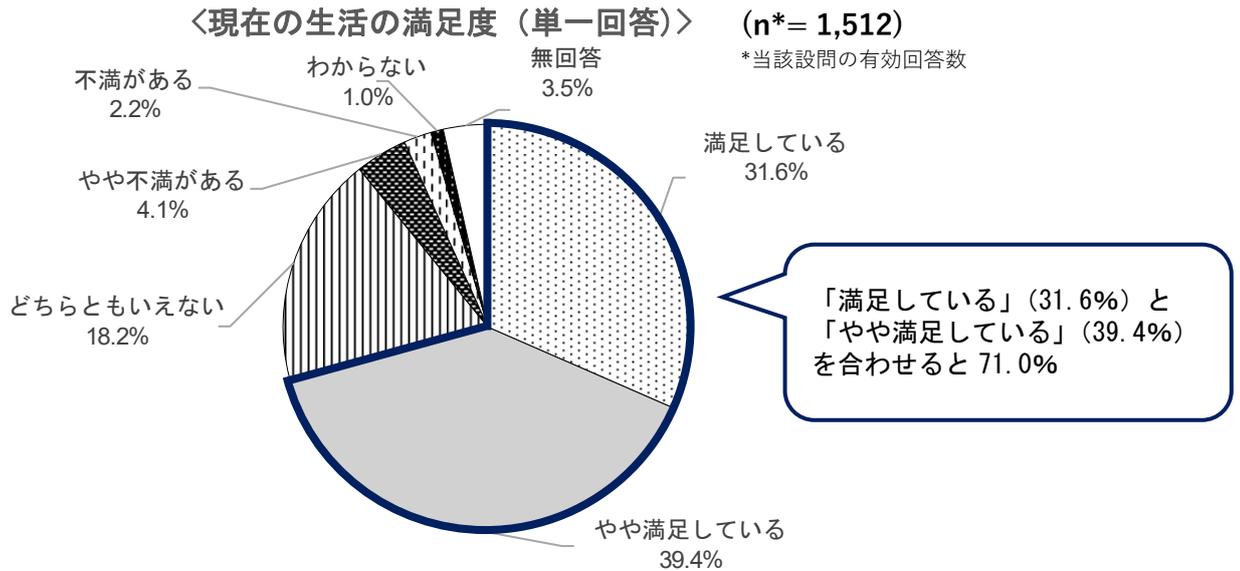


令和6年度横浜市外国人意識調査結果のポイント

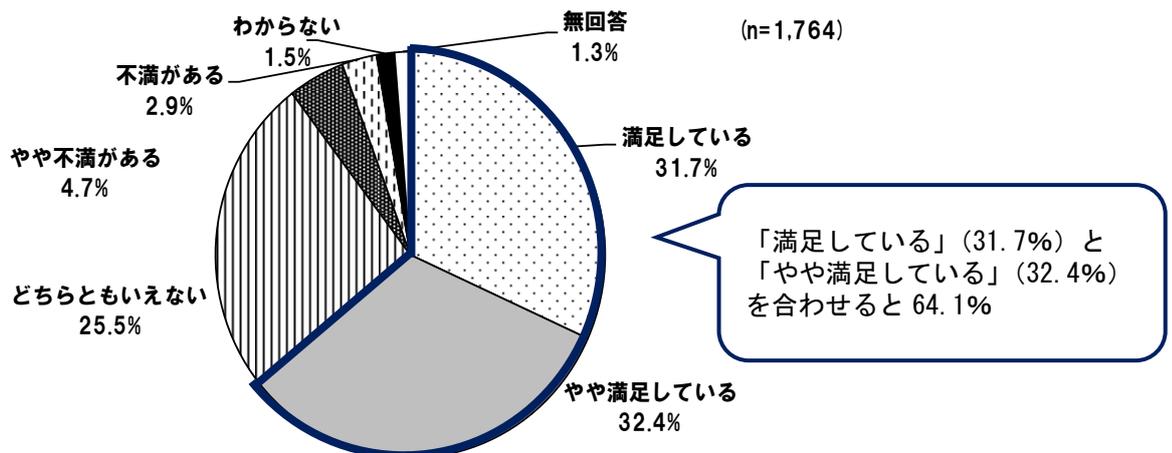
ポイント① 生活の満足度

満足度は7割を超える

現在の生活に満足（満足している+やや満足している）と回答した人は71.0%でした。



〈参考 令和元年度調査結果（単一回答）〉



ポイント②

横浜に住む理由

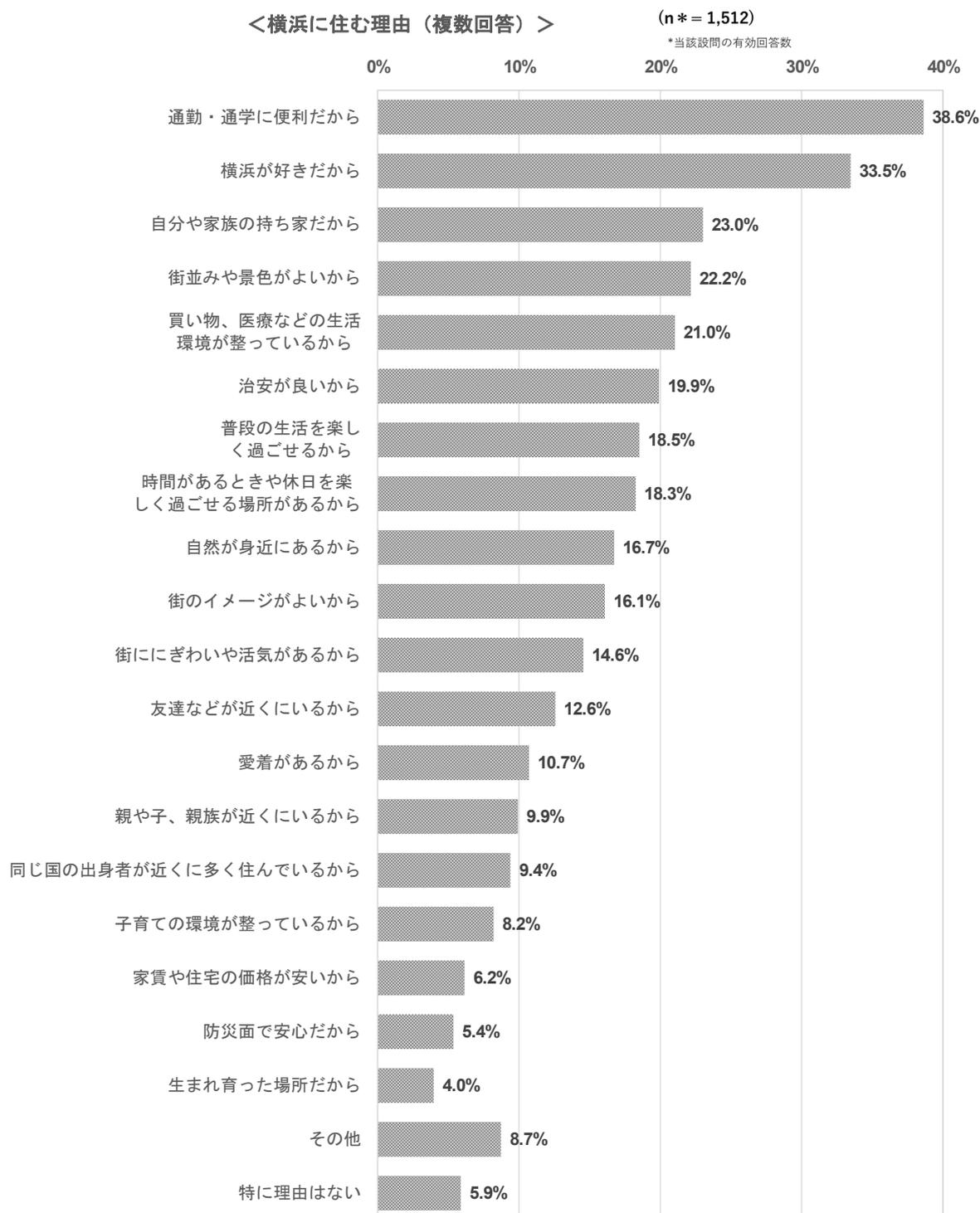
通勤・通学、買い物にも便利

横浜の魅力

横浜が好きだから、海や港が近くにあるから

横浜に住む理由についての複数回答で最も多いのは、「通勤・通学に便利だから」で38.6%ありました。次に多いのは、「横浜が好きだから」33.5%でした。

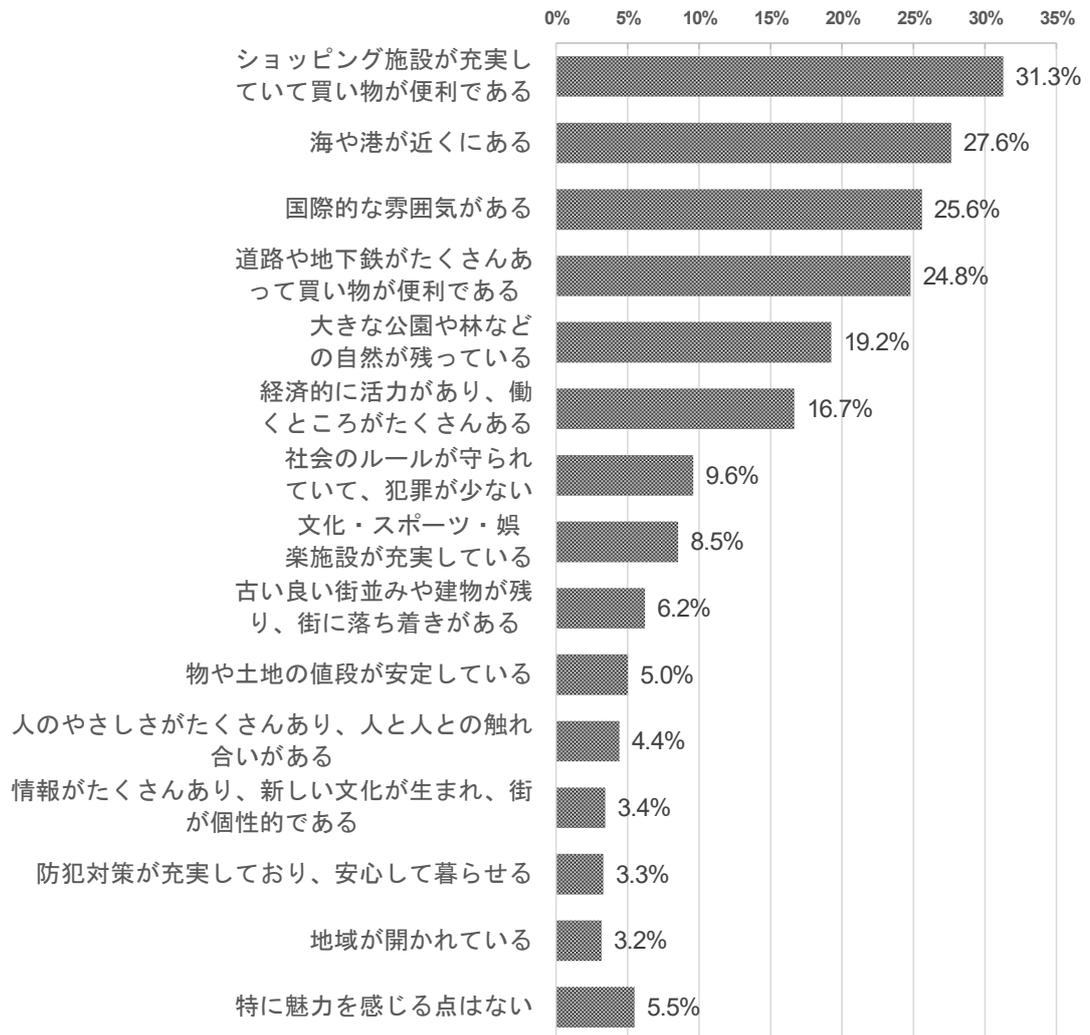
また、横浜で魅力を感じる点についての複数回答で最も多いのは、「ショッピング施設が充実していて買い物が便利である」で31.3%ありました。次に多いのは、「海や港が近くにある」27.6%でした。



< 横浜の魅力 (複数回答。3つまで選択) >

(n* = 1,512)

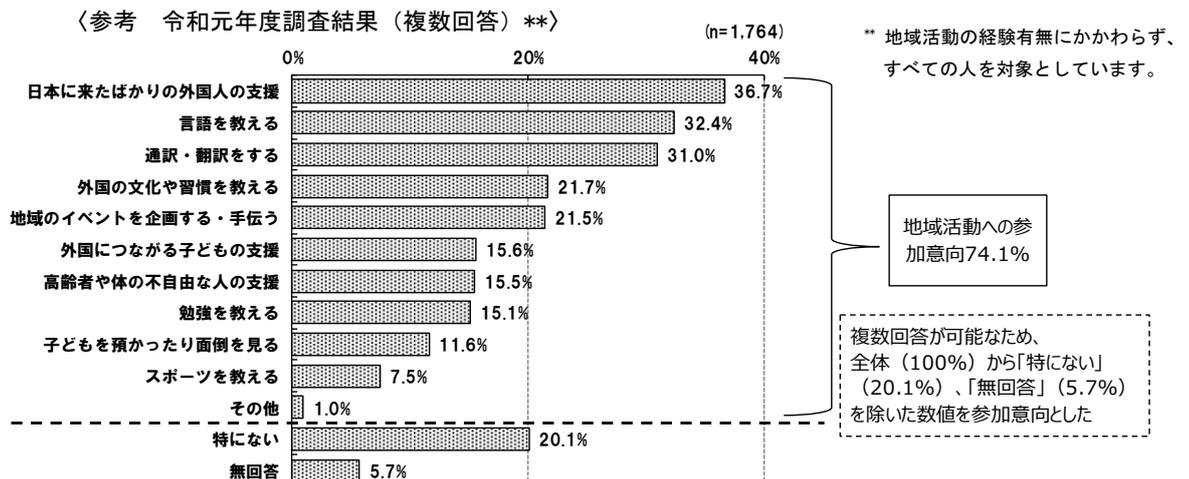
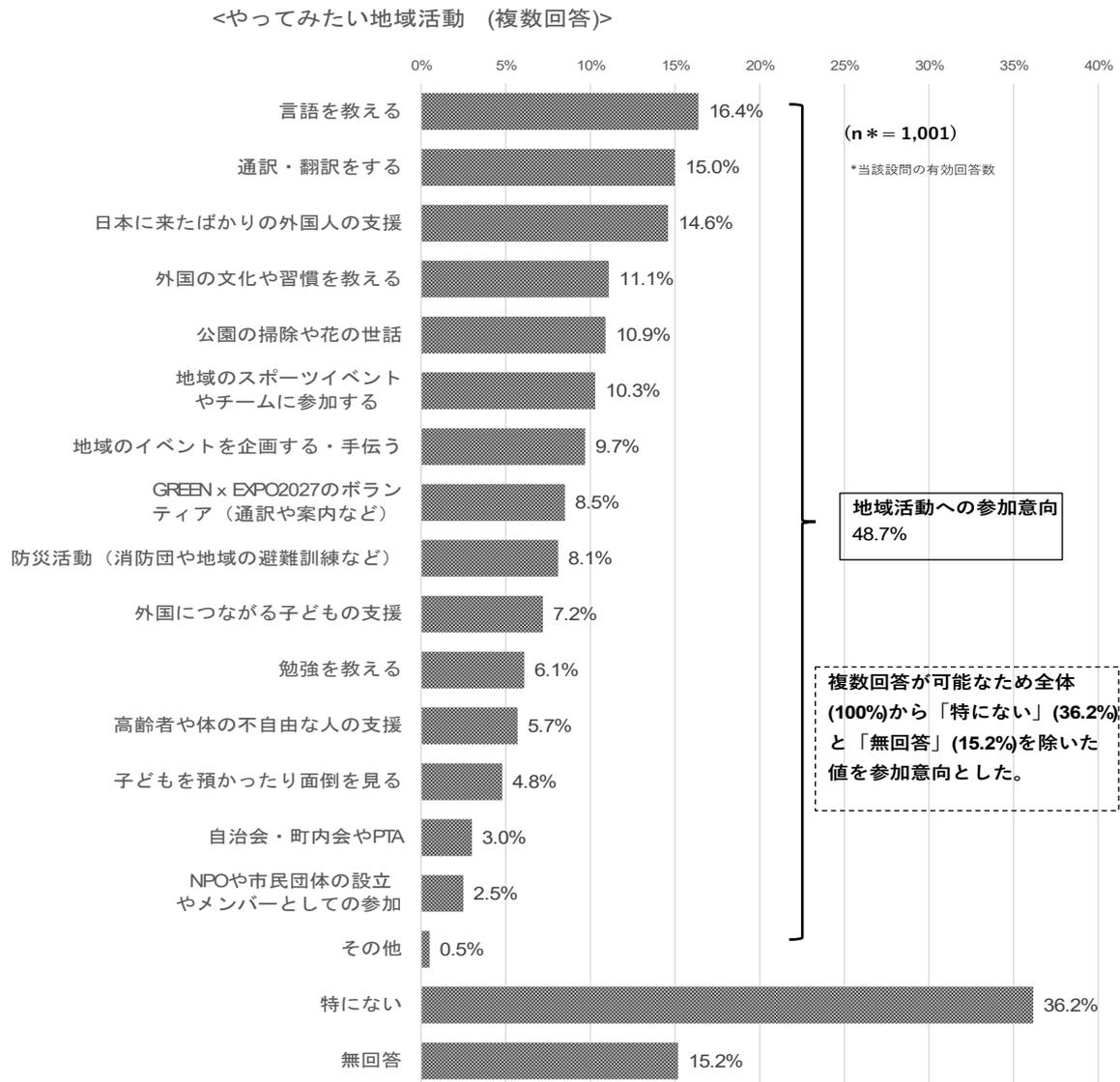
*当該設問の有効回答数



ポイント③ 地域活動

まだ地域活動をしていない人のうち、5割近くが参加意向あり

まだ地域活動をしていない人のうち、「やってみたい地域活動は何ですか」という問いに対し、何らかの地域活動への参加意向を示した人は48.7%でした。



ポイント④ 困りごと

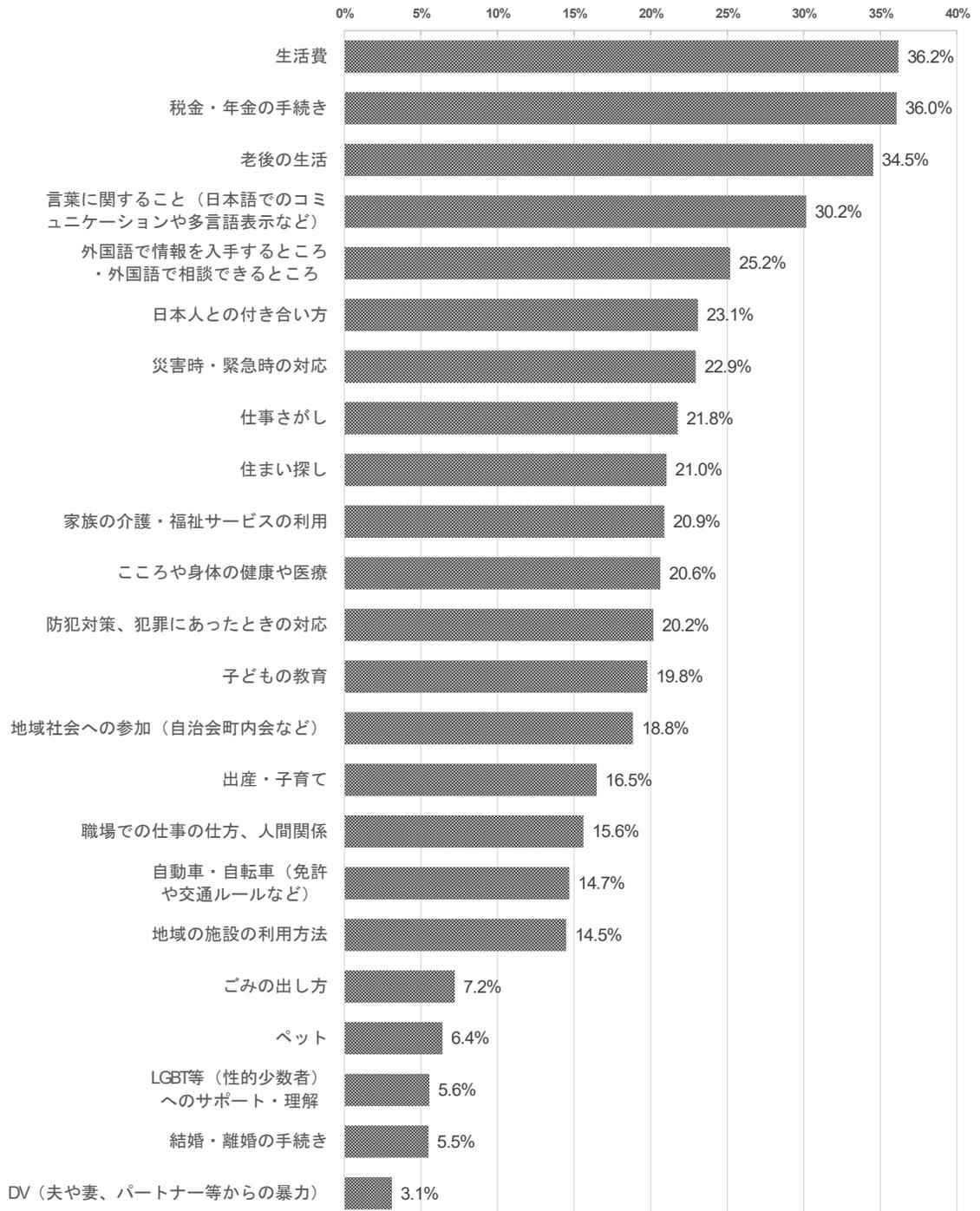
上位3項目は「生活費」「税金・年金の手続き」「老後の生活」

横浜での生活で困っていることや心配していること(23項目)について「とても困っている」「少し困っている」と回答した割合が最も多い項目は、「生活費」で36.2%でした。次いで多いのは「税金・年金の手続き」36.0%「老後の生活」34.5%でした。

<横浜での生活で、困っていることや心配していること(複数回答)>

(n* = 1,512)

*当該設問の有効回答数

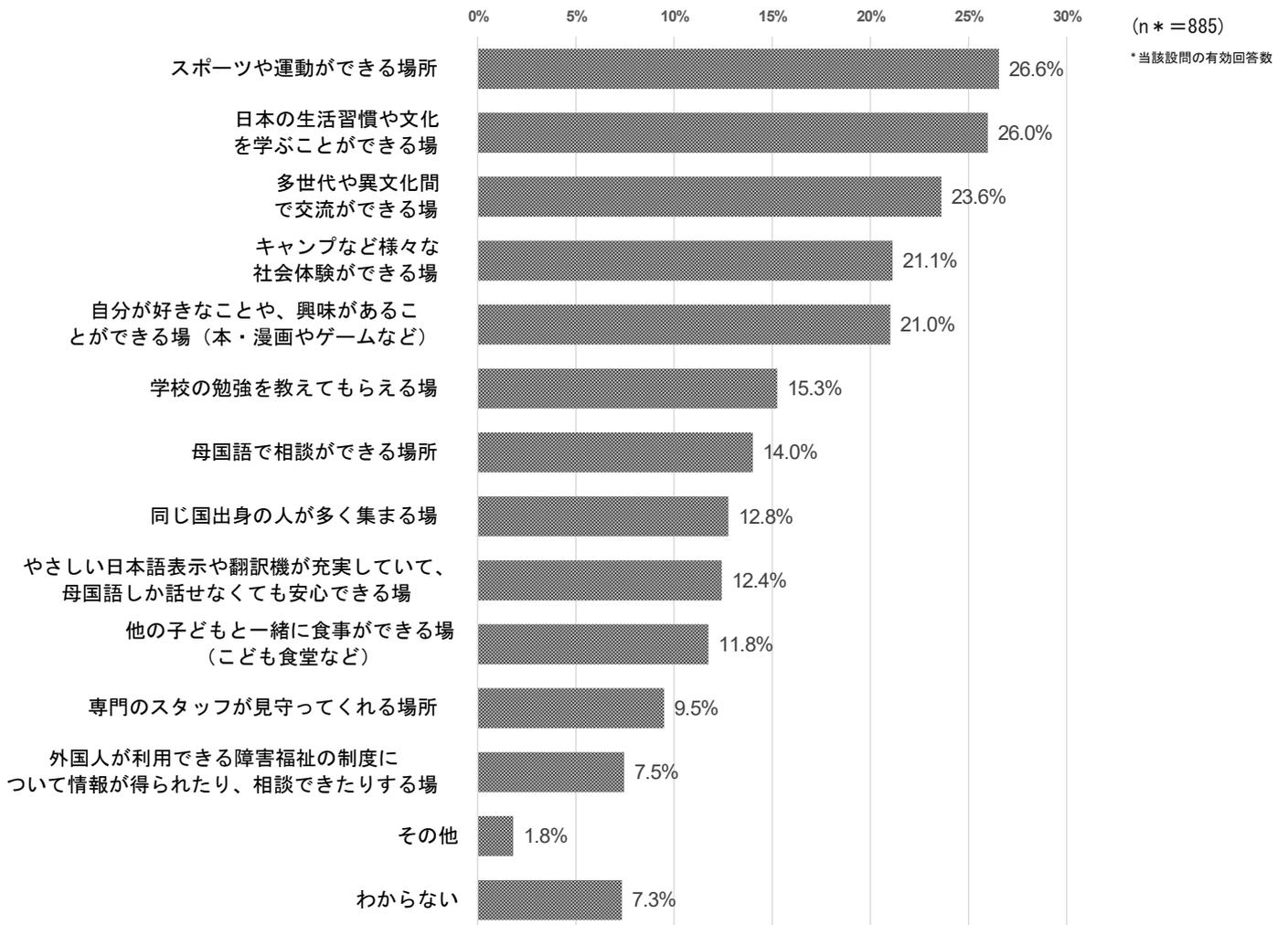


ポイント⑤ 子どもの居場所

「スポーツや運動ができる場所」「日本の生活習慣や文化を学ぶことができる場」

子どもの居場所としてあると良いと思われる複数の回答で、最も多いのは「スポーツや運動ができる場所」で26.6%でした。次に多いのは、「日本の生活習慣や文化を学ぶことができる場」26.0%でした。

＜子どもの居場所としてあると良いところ（複数回答）＞ ※29歳以下、または0歳～18歳のお子さんがある人を対象に質問



ポイント⑥ 防災

地域防災拠点の場所を知っている人は4割以下

大地震が起きて自宅が使えなくなったときなどに避難する場所「地域防災拠点」について、「知っているし、場所もわかっている」38.5%（前回（令和元年度）43.9%）、「知っているが、場所はわからない」25.6%（前回27.7%）、「知らない」30.7%（前回25.8%）となりました。地域防災拠点の場所を知っている人は4割以下となりました。

<地域防災拠点の認知度（単一回答）>

